

病防第43号の4
平成28年10月 3日

各関係機関の長様
(農政担当)

岐阜県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について (送付)

このことについて、下記のとおり発表したので、指導上の参考にしてください。

記

平成28年度病害虫発生予察注意報第4号
(トマト灰色かび病)

平成28年度病害虫発生予察注意報第4号

平成28年10月 3日
岐 阜 県

作物名 トマト (夏秋型栽培)
病害虫名 トマト灰色かび病 (*Botrytis cinerea*)

- 1 発生地域 中濃、東濃および飛騨地域
- 2 発生時期 10月上旬以降
- 3 発生程度 多い
- 4 予報の根拠
 - (1) 9月下旬の調査では、腐敗果率は中濃地域2.2%、東濃地域で2.1%と平年と比較し高い(表)。
 - (2) 9月上旬と比較し、ゴーストスポット発生果率は顕著に増加していることから、ほ場内における本菌の発生密度は高いと考えられる(表)。
 - (3) 9月30日の1ヶ月予報によると、気温は高く、降水量は平年並~多く、日照時間は平年並~少ないと見込まれることから、本病の発生に好適な条件となり、発生が増加すると予想される。
- 5 防除上の注意事項
 - (1) 発病した部位(果実や葉、花がらや葉先枯れ)は伝染源となるため早急に取り除き、ほ場外へ持ち出し処分する。
 - (2) 20℃前後の気温と90%以上の高湿度が続くと蔓延が著しいため、わき芽かき等を適

切に行い、通風をよくする。

- (3) 着色促進のためにサイドビニール被覆を行うと、風通しが悪くなり、ハウス内の湿度が上がり、本病の発生が助長されるため、発生に注意する。
- (4) 葉かび病やすすかび病などの多発により葉が枯死すると、本病の発生源となるためこれらの病害についても適切に防除する。
- (5) 薬剤防除に当っては、同一系統薬剤の連用は避け、系統の異なる薬剤でのローテーション防除に努める。
- (6) 農薬は、最新の登録情報 (http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm 農林水産消費安全技術センター) を参照し、適正に使用する。

表 1 平成 28 年度トマト灰色かび病発生状況調査結果

| 調査地点 | 発病果率 (%) | | | | |
|------|----------|----------------------|-------|----------------------|----------------|
| | 9 月上旬 | | 9 月下旬 | | |
| | 腐敗果 | ゴースト病 [®] 果 | 腐敗果 | ゴースト病 [®] 果 | |
| 中濃地域 | 郡上市 | — | — | 4.3 (0.2) | 22.0 (8.0) |
| | | 0.0 | 0.8 | 0.0 (0.4) | 33.4 (17.3) |
| | 平均 | 0.0 | 0.8 | 2.2 (0.3) | 27.7 (12.7) |
| 東濃地域 | 中津川市 | 0.0 | 0.0 | 2.4 (0.9) | 27.2 (13.8) |
| | | 0.0 | 55.7 | 1.8 (3.0) | 67.1 (13.8) |
| | 平均 | 0.0 | 27.9 | 2.1 (2.0) | 47.2 (13.8) |
| 飛騨地域 | 高山市① | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.4) | 4.8 (18.0) |
| | | 0.0 | 0.9 | 7.9 (4.7) | 34.9 (41.5) |
| | 高山市③ | 0.0 | 43.7 | 2.2 (4.0) | 84.8 (85.4) |
| | | 4.1 | 13.8 | 2.1 (4.0) | 25.0 (4.8) |
| | 下呂市② | 0.0 | 23.6 | 0.0 (0.9) | 90.0 (67.1) |
| | | 平均 | 0.8 | 16.4 | 2.4 (2.8) |
| 県 平均 | | 0.5 | 15.4 | 2.3 (2.1) | 43.2 (30.0) |

注) () 内は平年の値を示す、但し、中津川市のゴースト病[®] 果は過去 3 年の平均値